
経済 TOPICS

No. 200
(2022年6月17日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 生産と輸出は横這い圏内で推移しているものの、消費と設備投資が緩やかに持ち直しているほか、雇用も改善傾向にあることから、全体としては緩やかに持ち直している。この間、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の長期化に伴う資源・食料価格の高騰などの影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強い状態が続いている。
- 米国 … 生産や輸出が緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資が堅調に推移していることから、全体としては回復を続けている。この間、雇用も堅調で、消費者物価指数は高水準が続いている。
- 欧州 … 生産は横這い圏内の動きながら、設備投資、輸出や消費が改善していることから、緩やかに持ち直している。しかしながら、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の長期化に伴う資源・食料価格の高騰などの影響が懸念されている。
- 中国 … 輸出は堅調に推移しているものの、生産、消費、不動産開発投資が減速していることから、全体としては回復テンポが減速している。また、ゼロコロナ政策に伴う不透明感などにより、景況感が大幅に悪化している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
